

日本最大級の客船「飛鳥II」が入港しました。

日本最大の客船「飛鳥II」が1月10日に四日市港に入港しました。船長への花束贈呈などの歓迎式典が行われた後、乗客の多くは、四日市港から観光バスで伊勢神宮など県内の観光へと出発しました。この間に、事前応募で当選された約100人を対象に船内見学会が開催されました。四日市港には今後も豪華客船の入港予定があり、四日市港管理組合ホームページなどでお知らせしていきます。



平成26年の入港予定

4月2日、8月17-24日 につぼん丸
9月14日、11月22日 飛鳥II

四日市港の予算 平成26年度予算

四日市港管理組合では、このほど平成26年度の当初予算を編成しました。

一般会計

61億198万2千円

港湾整備事業特別会計

34億4,118万9千円

物流を支える港づくり

▶ 背後圏の産業を物流面から支えるため、荷主企業や船会社に対して、さまざまな取り組みを行います。

- 霞ヶ浦地区北ふ頭土地造成事業 …………… 400,000千円
- 霞4号幹線整備 …………… 1,125,000千円
- 特例港湾運営会社の指定を受ける新会社への出資 …………… 2,500千円
- 霞ヶ浦北ふ頭荷役機械の建設 <債務負担行為の設定>

安全・安心な港づくり

▶ 背後地の安全確保のために、管理している施設について、適切な維持管理に努め、優先度の高いところから計画的に整備を進めます。

- 富田港地区の護岸補強工事 …………… 180,000千円
- 四日市地区第3ふ頭15号岸壁の耐震強化対策工事 …………… 400,000千円

親しまれる港づくり

▶ 多様な主体の参画を進めながら、四日市港まつりなどを開催するとともに、港湾緑地の適切な維持管理に努めます。

- イベント・交流事業費(港まつり、みなと講座) …………… 1,515千円
- 単独緑地維持補修費 …………… 48,858千円

3つの視点に立った取り組みを進めます。
四日市港をご利用いただく皆さんに、さらに満足いただける港を目指して、

四日市港の安全・安心を目指しテロ対策合同訓練を実施



訓練の様子

四日市港管理組合や海上保安部、警察、消防など四日市港保安委員会メンバー26機関合同による『第11回四日市港テロ対策合同訓練』が2月25日に四日市港で実施されました。

訓練には、海上保安部巡視艇「いせぎく」など船艇5隻、ヘリコプター1機、パトカー、消防車など車両17台、県警機動隊など人員約70人が参加し、四日市港内でテロが計画されているとの想定で、船舶での消火、不審物の検査、爆発物の処理、小型不審船の捕捉、要救助者搬送などが行われました。

このような訓練を通し、関係機関における連携などを図り、四日市港の安全・安心に努めていきます。

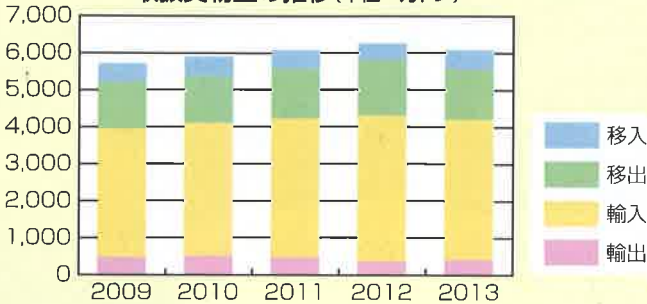
四日市港の港勢・2013年速報値

入港船舶・海上出入貨物

四日市港の2013年の入港船舶数は17,735隻(前年比98.6%)で、うち四日市港と海外を結ぶ外航船は1,891隻(同108.1%)、四日市港と国内の港を結ぶ内航船は15,844隻(同97.6%)でした。外航船のうちコンテナ船は883隻(同108.3%)となりました。

海上出入貨物は、外国貿易4,188万1千トン(同97.5%)、内国貿易1,880万8千トン(同96.3%)となりました。

取扱貨物量の推移(単位:万トン)



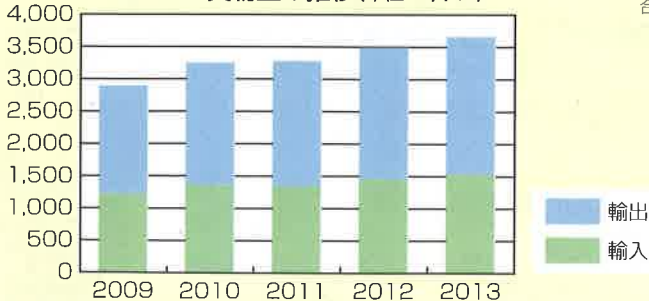
外貿コンテナ取扱個数が過去最高を記録

四日市港の外貿コンテナ貨物の2013年の取扱量は365万3千トン(前年比104.5%)で内訳は輸出が212万6千トン(同104.0%)、輸入が152万7千トン(同105.4%)となりました。

また、外貿コンテナ取扱個数も193,533TEU(同106.0%)となり、いずれも過去最高を更新しました。

★TEUとは、20フィートコンテナに換算した場合の取扱個数を表す単位。

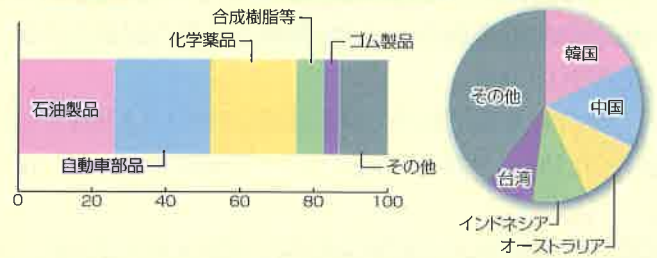
コンテナ貨物量の推移(単位:千トン)



品種別

輸出 4,036千トン

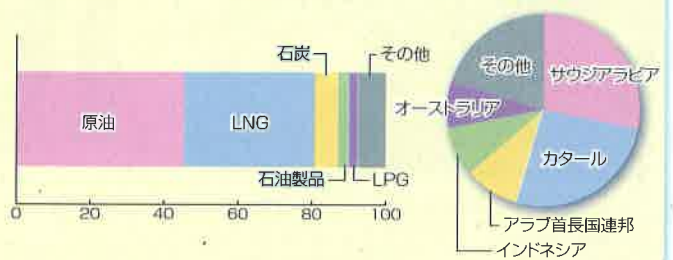
国別



品種別

輸入 37,845千トン

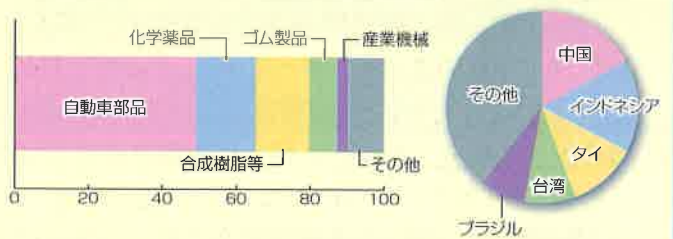
国別



品種別

輸出 2,126千トン

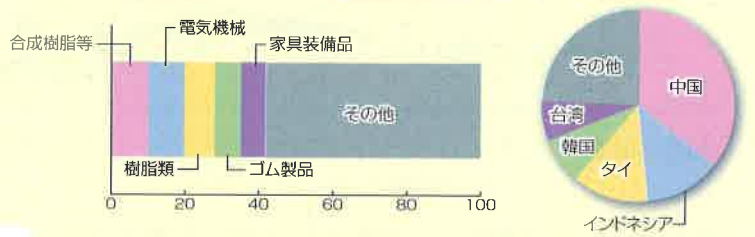
国別



品種別

輸入 1,527千トン

国別



★(注)国名は「港湾統計に用いるコード表」の分類による。
「合成樹脂等」は「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」のこと。
速報値のため、今後数値に変更が生じる場合があります。

各地で四日市港セミナー・説明会を開催

四日市港利用促進協議会の主催による「四日市港セミナー」が大阪市内(1月22日)と東京都内(2月6日)で開催されました。(写真は大阪セミナーで講演をする同協議会名誉会長の鈴木英敬三重県知事)

四日市港に対する理解を深めていただき、利用を促進するために開催されたもので、四日市港の現状や取り組みについてのプレゼンテーションの後、大阪では、鈴木知事自らが三重の魅力などについて講演し、東京では、株式会社ケーヒン生産本部鈴鹿工場管理課課長の鈴木秀樹氏による講演が行われました。

このほか、同協議会では、伊賀市や滋賀県長浜市で四日市港説明会を開催するほか、びわ湖環境ビジネスメッセへ初出展するなど、四日市港の利用拡大に向けて、継続的にポートセールスを展開しています。



「四日市港エコクルーズ」を開催しました。

1月25日(土)に四日市港エコクルーズを開催しました。

エコクルーズの参加者(28人)は、巡視船「ゆりかもめ」に乗船して、四日市港の港内見学を行うとともに、船上での環境体験学習などを通じて四日市港での水質調査の方法や、環境への取り組みなどについて、理解を深めていただきました。

四日市港管理組合では「環境にやさしいみなと・四日市港」づくりを進めていくために、今後も環境イベントを随時開催していきます。



展望展示室「うみてらす14」で行われる四季を通じたイベント



四日市港ポートビル展望展示室「うみてらす14」では、四季を通じて様々なイベントを開催しています。

12月21日に開催したクリスマスコンサートでは、四日市市が主催する「第2回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち」でグランプリを受賞した桑名市のワッシーファミリーなどが出演し、来場者は多彩な生演奏やノンアルコールカクテル、星座解説を楽しみました。

1月1日には初日の出を見る会が開催されました。また、1月7日には四日市市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」が展望展示室にやってきて、子どもたちと一緒に記念撮影をしたり、展望を楽しんだりしました。

そして、2月19日には夜景写真講座を行い、事前応募で当選した受講者が、講師の(公社)日本写真協会会員 樋口幸雄さんから一人ひとり、熱心に指導を受けていました。

今後も「うみてらす14」では、8月の四日市花火大会に合わせた見学会など、四季を通じてさまざまな魅力あるイベントを企画し、四日市港管理組合のホームページなどでお知らせしていきます。

展望展示室「うみてらす14」のご案内

- 開館時間／AM9:30～PM5:00《土曜日と7～11月の金曜日はPM9:00まで》
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日／月曜日《4～6月、12～3月》、水曜日(いずれも祝日の場合は次の最初の平日)、12月29日～1月3日
- 料金／一般300円・小中学生150円(団体20人以上／一般240円・小中学生120円)



ニュースの感想などを募集します!

四日市港ニュースの感想や四日市港に関する面白い情報、写真を、住所と名前を明記の上、下記までお送りください。いただいた写真などの中から一部を四日市港ニュースに掲載させていただきます。(写真は返却できませんので、ご了承ください)

また、お送りいただいた全ての人の中から抽選で、ポートビル14階展望展示室「うみてらす14」の無料入場券を進呈します。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)

- 応募先／〒510-0011 四日市市霞2丁目1-1 四日市港管理組合 振興課 四日市港ニュース係
FAX 059-366-7025 E-Mail shinko@yokkaichi-port.or.jp